



中信ビジネス情報誌

NONA
あな

2014 No.115



“人”を大切に作るモノづくり経営

interview
to a
manager

株式会社 横井製作所
代表取締役社長

横井 洋治氏



横井 洋治氏プロフィール

1943年 滋賀県大津市生まれ
1966年 同志社大学経済学部卒
1984年 (株)横井製作所 創業



本社外観

経験・強みを活かしての起業、経営

当社は昭和59年4月に創業し、今年で30年目を迎えます。起業は、20年近く成形メーカーに勤務した後40代のときでした。今の時代で考えると早いほうですが、当時としては遅く、早い人は28~29歳で起業している時代でした。創業当時はオイルショックが終幕した後ということもあり、これから立ち上がっていく、盛り上げていく時節だったので、その頃に起業したことは良かったと思っています。

当初は4台の機械に、5~6人の従業員で作業をしていました。取引先としては、樹脂部門を立ち上げたばかりの一部上場企業へ金型や成型品のアドバイスをしたことが縁で、取引を開始させていただきました。先日、第一期目の決算書を久しぶりに見ましたが、驚いたことに第一期目から黒字経営でした。往々にして創業赤字が何期か続いていくものですが、今思えば、取引先や人の縁に恵まれていました。

起業したときは人任せにすることなく、全て自分で対応しなければなりませんでした。以前勤務していた会社では製造、技術、営業各業務の責任者をこなして一通り網羅してましたので、そこでの経験を活かすことができました。起業された方の中には順調にいかれていない方もいらっしゃいますが、私は製造も営業もどちらも経験していたので、それが功を奏しました。

また、そのような取引先に甘えることなく日夜、新規開拓を行い、上場企業など様々な企業と取引を拡大してきました。

オリジナル品質への取組み

現在、日本のメーカーと海外メーカーとの競争は激しさを増しています。そのような中、当社は海外生産でなく国内生産にこだわり、製品改良、短期納期、海外メーカーとの価格競争などに取り組んでいます。

それは、まず、材料から他社には絶対に真似できないものを作る。材料メーカーとタイアップして当社オリジナルの材料



OA機器関連部品など、様々な種類の部品が作られている

を作って、取引先へ各部品に対する最適な材料・特性の提案を行っています。また、当社で使っている金型80%が自社製品です。自社で金型を作ることにより、試作品を作ってほしいと頼まれた場合など取引先のリクエストにもすぐに対応可能となり、納品もスピーディーに行うことができます。

今後も当社では、材料から他社には真似できないオリジナル品質のものを作ることを目指しています。

女性が安心して働ける環境づくり

当社は、全従業員107名のうち女性従業員が77名と約72%を占めています。この背景には「この仕事は男性のほうが向いている、女性のほうが向いている」という偏見・固定観念を持たず、適材適所の職場に女性を配置しているからだと思っています。性別で職場を限定してしまえば、その人本来の能力が発揮できなくなってしまいます。従業員全員が平等に働けて頑張れる環境がしっかり整っていれば、能力を持っている女性は伸びていきます。

また、女性をいかに活用するか、これは企業の生き残り戦略の一つと考えており、「人」としてどう育てていくかを考え、環境を整えていくことを心掛けています。特に、女性の場合は出産を機に長期間職場を離れてしまいます。当社では、購買など管理する仕事を少数で進めていくという流れができ上がっているため、半年から一年と人員が欠けた場合、後継者育成など業務に支障が出てきます。長い時間かけて蓄積されてきた知識・能力という経営資源を損失してしまうことほど、もったいないことはありません。

そのような発想から、女性の長期間勤務が可能になるように“託児室”を設けました。会社には、子育て経験のある女性従業員も多くいましたし、場所もありました。当初は、食堂の一角にある広さ8畳ほどの休憩スペースを利用していましたが、現在では託児する子どもが増えたため、社長室横の応接室を利用しています。みなさんは難しいと思われるかもしれませんが、“託児室”を設けることに対して、抵抗はありませんでした。キャリアを積んだ女性が出産で会社を離れることは大きな損失になると考えていますので、2人目・3人目ができても、当社で働き続けてほしいというのが私の願いです。このように、産後も安心して復帰できるよう、社員が一丸となって働くママ社員を支援しています。



現在はゆったりとしたスペースになり、3人の子どもを預かっている



多くの女性従業員が活躍している

人を大切にする企業経営を目指して

当社はモノづくりの会社ですから、「京都一の会社にする」という意気込みは常に持っています。あわせて、「人を大切にする」というスタンスも大事にしています。以前、取引先企業の方から、「どんな仕事にも発注側と受注側の双方があり、この関係は対等だ。」と言われたことがあります。当社が作ったものを取引先が買いそれを売ることによって利益になり、当社は仕事をもらって利益を生み出します。自社の利益しか考えないという図式は良くありません。いいものを作り上げたいのなら、お互いの利益を考えなければなりません。

フェアな関係を築くためにも、取引先に対しても言うべきことは、はっきりと言うべきです。ただ、絶対に無理を言うてはいけません。私は、このことを全従業員に徹底しています。

「人を大切にする」というスタンスは、もちろん従業員にも当てはまります。従業員の力がなければ、企業は伸びません。企業は社長一人の力で回っているわけではありません。私はこれからも従業員を大切に、従業員からも大事にもらえるような企業を目指していきたいと思っています。

●会社概要

社 名 株式会社 横井製作所
設 立 昭和59年(1984年)4月
事 業 内 容 精密PLASTIC射出成形部品の企画製造
資 本 金 18,150,000円
従 業 員 107名(男性30名、女性77名)
所 在 地 本社
〒611-0043
京都府宇治市伊勢田町浮面28-1

中川原工場
〒611-0041
京都府宇治市横島町中川原23番地5

U R L <http://yokoiss.com/>